

## 瀬戸内海のスナメリには30以上の地方名があります

牛窓のスナメリを見守る会 代表  
小野塚 昌博

### 1. 瀬戸内海のスナメリ

スナメリは、ペルシャ湾から日本にかけてのインド洋、西太平洋の沿岸域に分布が確認されているクジラの仲間です。日本では、仙台湾から東京湾、伊勢湾と三河湾、瀬戸内海から響灘、大村湾、有明海から橘湾の5つの海域に分布が確認されています。強沿岸性の生き物で水深50m以上の海域には生息していないことがこれまでの研究でわかっています。また、形態や遺伝子の研究から、それぞれの分布域間において、スナメリの往来はほぼないと考えられています。瀬戸内海のスナメリは、瀬戸内海で生まれ育ち、そして死んでいきます。他の海域に行ってしまうことはなく、反対に他の海域からやってくるスナメリもいません。つまり、瀬戸内海のスナメリは、その数を減らしてしまってもよそから入ってきて数が保たれるということはないということです。他の生息域についてもこれとまったく同じことが言えます。

### 2. 牛窓のスナメリを見守る会

私が代表を務める「牛窓のスナメリを見守る会」(以下、見守る会)は、岡山県の東部、瀬戸内海に面した瀬戸内市牛窓町でカヤックのガイドツアーを営む私と、水族館で学芸員をされているスナメリの研究者が、とある環境保護イベントで知り合ったことをきっかけに発足しました。2008年の発足当初より『スナメリは瀬戸内海の宝もの』をキャッチフレーズに牛窓町周辺の海域で、次の三つを大きなテーマとして活動しています。

- ① スナメリの存在を沿岸住民に知ってもらうための啓発活動
- ② 主に目視観察による生息状況の調査活動
- ③ 学生や研究機関の調査における現地サポート活動

### 3. スナメリの地方名(呼び名)を調べる

#### 3.1 地方名に興味を持ったきっかけ

見守る会が拠点としている牛窓では、スナメリは「ナメソ」もしくは「ドゲンソ」という地方名で呼ばれています。「スナメリ」というのは標準的な和名ですが、地元の年配の方々と話をするとスナメリでは通じないこともあります。

「それぞれの地域に固有の呼び名があるのは、その生き物が古くから人のそばにいた証し」

これは、見守る会の発足時に長崎大学水産・環境科学総合研究科教授天野雅男先生(当時は帝京科学大学准教授)からお寄せいただいた一文にあった言葉です。私は、この言葉の書かれた1行を目にした時、地方名(地域固有の呼び名)の存在は、スナメリが身近な生き物であることを人々に伝える手段として活用できるのではないかと考えました。その時すぐには、具体的な活用法が思い浮かばなかったのですが、活動が続ける中でアイデアをひねり出しブラッシュアップさせ、徐々に活用法を組み立てていきました。運良く機会を得ることができた2012年に、「瀬戸内海におけるスナメリの地方名分布図の制作と配布」と題して調査プロジェクトを実施しました。

### 3. 2 具体的なプロジェクトの内容について

プロジェクトは、1) 現地ヒアリング調査、2) 分布図制作、3) 分布図(ポスター)配布、の順で行いました。見守る会の学生メンバーを主軸に実行委員を構成し、調査、集計を実施。分布図(ポスター)の制作については、視覚的なわかりやすさを考慮して外部のデザイナーに依頼しました。

#### 1) 現地ヒアリング調査

調査範囲は、瀬戸内海環境保全特別措置法に定められる海域から、紀伊水道と豊後水道の一部(事前調査でスナメリの生息が希薄とされた海域)を除いた海域に面する地域です。

効率的な調査を実施するために、事前に各地漁協などへEメールを利用したアンケートを実施。加えて、ヒアリングのシミュレーションも行い1件あたりにかかる時間を算出。これらを総合してヒアリング訪問ポイントを絞り込み、最終的に132カ所を選定しました。

現地調査は、2012年9月から12月に行い、延べ11日をかけて実施しています。

調査で訪れたポイントの多くは、過疎、高齢化の進む漁村であったため、人に遭遇すること自体が難しいところなどもあり、調査員4名で歩き回ること、ようやく1件のヒアリングが成立するような場所が非常に多くありました。また、港としての施設はあるものの既にその役割を終えてしまったようなところも複数存在したため、当初の予想よりは厳しい状況でしたが、訪問ポイントの総数は131となり、そのうち、1件以上の有効なデータを収集できたポイントが118、有効なヒアリング件数(呼称について回答の得られたもの)の総数は333となりました。

#### 2) 分布図制作

結果をまとめ、分布図(マップ)に落とし込み、ポスターを制作しました。(A3版500部・B4版400部)

制作したポスター(ルビ無し版)は、次ページに挿入します。調査の集計結果につきましても、このポスターをご参照ください。

#### 3) 分布図(ポスター)配布

発送配布先については、調査海域沿岸の小中学校を中心に選定しました。現地調査中に調査員がポスター掲示に有用と判断した施設、機関や、アンケート回答者でポスターの送付を希望した個人、団体も対象として発送しました。発送の総数は423通となりました。(現在の総配布数は489)

### 4. スナメリの地方名分布からみえてくること

この調査で確認できた地方名の数は、32となり(その後の調査により判明したものも含めると35)、当初予想(15程度)の倍以上となりました。

調査では、お答えいただいた方の年齢や職業についてもお聞きしています。職業別の集計を見ると、地方名回答者については、圧倒的に漁業関係者が多く、このことから、地方名発生の元は、他の水産物の呼称に見られるように漁師言葉である可能性が高いと推測しています。

漁の対象としての記録のないスナメリですが、漁網を損傷させる、魚を散らすなどの理由から、漁師には嫌われ者とされることも多く、そういった意味から各地でそれぞれに呼び名が与えられていったのかもしれませんが、そして、スナメリは他の水産物のように市場に揚がることがなかったため、漁師の付けた呼び名が一般の人に浸透することがなかったのではないかと考えています。

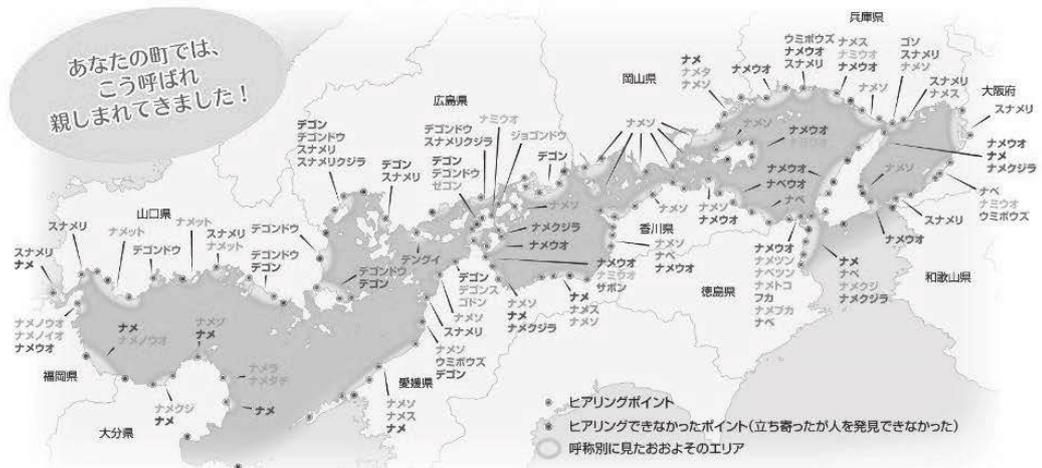
驚いたのは、わずか数百メートルほどしか離れていない島の間で、呼び名が違っている事例があったことです。簡素な移動手段しか持たなかった遠い昔、瀬戸内海は海そのものと無数にある島々、早くて複雑な潮流などによりコミュニティが細かく分断されていて、スナメリの呼び名にも影響を与えたのかもしれませんが、高速かつ大量移動が可能な現在との「距離感」の違いが感じられるとともに、海を中心に形成されていった瀬戸内海文化の足跡が残されているような気がしています。

## 5. 調査結果の活用について

この調査で取得できた地方名の情報を活用することで、スナメリを通してより多くの人に瀬戸内海へ興味を持ってもらえるよう、これからも様々な活動を行っていきたく考えています。

この調査では、瀬戸内海一円を巡り相当な数の漁村を訪れましたが、すべてをまわりきれたわけではありません。瀬戸内海に無数に存在する島嶼部の多くは残されたままです。見守る会では、現在もオンラインで投稿いただく形を中心に継続して情報を収集しています。情報をお持ちの方は、ぜひご一報ください。

# 瀬戸内海におけるスナメリの地方名分布

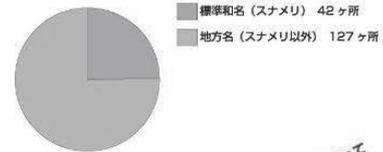


スナメリ	1	42ヶ所
ナメソ	2	28
ナメウオ	3	16
ナメ	4	13
デゴンドウ	5	10
デゴン	6	7
ナメウオ	7	5
ナベ	8	5
ナメクジラ	9	5
ナメツ	10	4
ウミボウス	11	3
スナメリクジラ	12	3
ゴン	13	3
ナベツ	14	2
ナメクジ	15	2
ナメス	16	2
ナメノウオ	17	2
ゴドン	18	1
ジョゴンドウ	19	1
ゼゴン	20	1
デゴンス	21	1
デングイ	22	1
ナベウオ	23	1
ナベサン	24	1
ナベプカ	25	1
ナメスサン	26	1
ナメタ	27	1
ナメダチ	28	1
ナメツ	29	1
ナメコ	30	1
ナメノイオ	31	1
ナメラ	32	1
フカ	33	1

### 瀬戸内海だけでも 33 の呼び名 !!

人間の生活圏のすぐそばにいらながらも食用に適さず、利用価値がほとんどなかったために、さほど注目されることなく生息してきたスナメリに、複数の地方名が存在しているということは、過去に無視できないほどの大量の個体が生息していたということの現れかもしれない。

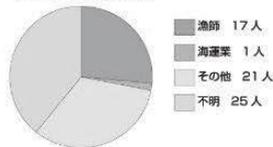
瀬戸内海では地方名で呼ばれることの方が多い



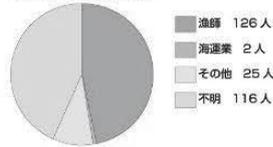
年配者に地方名を使う人が多い。  
数が減ってメジャーではなくなった?

### 地方名は漁師言葉が発祥?

標準和名(スナメリ)で呼んだ人の職業別内訳



地方名(スナメリ以外)で呼んだ人の職業別内訳



標準和名(スナメリ)で呼んだ人の平均年齢 43.0歳

地方名(スナメリ以外)で呼んだ人の平均年齢 60.4歳

### 瀬戸内海におけるスナメリの地方名調査

2012年9月~12月にかけて、瀬戸内海沿岸の漁港やヨットハーバーなどを訪問し、スナメリの呼び名(地方名)についてヒアリング調査を実施しました。

延べ11日、2,814kmを走行し、131カ所で、333人の方からお話をうかがいました。地方名のみならず、スナメリの地域ごとの目撃情報などの情報もできる限り収集しました。

平成24年度公益信託 TaKaRa ハーモニストファンド助成事業  
調査協力: 啓明学院前島キャンパス・岡山理科大学理学部動物学清水ゼミ

For saving the SUNAMERI.



牛窓のスナメリを見守る会